

英語活動 第 [6] 学年 単元活動計画 【 Where are You from? ご出身はどちら? 】 全 4 時間計画

単元のねらい： 出身地を尋ねる表現を利用して、世界の国や地域の名所や産物をテーマにした活動を通して表現に慣れ親しみ、世界の国々に関する興味や関心を持つ。

[聞くこと] 聞き慣れた表現を手がかりにしながら、内容を想像しながら聞こうとする。

[話すこと] 既習の知識や既習表現を駆使しながら、簡単な英語で応じようとする。

[読むこと] 絵カードの表現を頭文字を手がかりに聞き慣れた音と重ね合わせることを通して、表現に生かそうとする。

[書くこと] 食事のメニューをアルファベットに注意して書くなどして、表現に生かそうとする。

[自国や外国の文化への関心]

国や食材、言葉などをテーマに友達と活動することを通して英語を身近に感じたり、世界の国々とのつながりを感じようとする。

時	1	2	3	4
ねらい	児童の保護者の出身地を調べる活動を通して表現に慣れ親しみ、友達との交流を楽しむ。	既習学習の知識を利用して外国語指導助手の出すヒントから、国名を当てる活動を通して国名の表現を知り、仲間作りの活動を楽しむことを通して国名や表現に慣れる。	ある日の各自の食事メニューを用いて、それらの食材の輸入国を調べる活動を通して国々の身近なつながりを実感するとともに、表現に慣れ親しむ。	身近な外来語を取り上げ、その言葉を元々使っていた国を調べ合う活動を通して表現に慣れ親しみ、外国との身近なつながりを実感するとともに外国文化への関心をもつ。
主な活動	Where are You from?	国当てゲーム	Where is our Food from?	Where is 外来語 from?
言語材料	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> 既習表現 Where are you from? I'm from Gunma Prefecture. My ~ is ~ Prefecture. </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> 既習表現 What country is this? Where are you from? [国名の例] China, Korea, America, Australia, Italy, Egypt, Brazil, India, </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> 今までの既習表現 </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> 今までの既習表現 </div>
評価規準	[話すこと] 既習表現を駆使して、音やリズムに注意して英語で聞いたり答えたりしようとする。 [自国や外国の文化への関心] 英語で友達と楽しく交流することを通して、英語に関心をもとうとする。	[聞くこと] 外国語指導助手の自然な英語を、内容を想像しながら聞こうとする。 [読むこと・話すこと] 既習の知識や既習表現を駆使したり、絵カードの国名を読んだりして、簡単な英語で応じようとする。	[書くこと] メニューを考え、アルファベットに注意して書き、表現に生かそうとする。 [自国や外国の文化への関心] 食べ物の輸入国を調べる活動を通して、世界の国々とのつながりに気付こうとする。	[話すこと] 既習の知識や既習表現を駆使して、簡単な英語で応じようとする。 [自国や外国の文化への関心] 外来語を調べる活動を通して、世界の国々とのつながりに気付いたり、外国の言葉への関心をもとうとする。
指導上の留意点	日本地図の各県に、出身者を位置付けたり、結果の概要が視覚でとらえられるようにしたりして、活動の面白さを高めるようにする。	各国の象徴的なヒントになるものは、映像や模型、具体物を準備し、活動への意欲を高めるようにする。カタカナ英語との違いに注意して、音やリズムを聞くよう促す。	メニューを書く活動で、英語の音を重ね合わせながら、文字の大きさに注意して、丁寧に書くよう促す。	事前に、学級担任も児童も、身の回りの外来語集めをするようにする。

【 Where are You from ? 】 第 1 時 / 4 週計画

[Aim] 児童の保護者の出身地を調べる活動を通して表現に慣れ親しみ、友達との交流を楽しむ。

[Preparation] 日本地図 (地方別でも可) 集計用シール

主な学習活動	時間	指 導 上 の 留 意 点		評価項目
		H R T	A L T	
Greeting Song	5	笑顔で児童を迎え、一人一人の児童の目を見て既習表現を使ってあいさつを交わし、緊張感を解きほぐすようにする。		
Main Activity 活動の実演を見て本時の活動について考え、表現に触れる。	35 (15)	活動を提示する。 ALT : I'm from America. Where are you from? HRT : I'm from Gunma prefecture. ALT : Where is your mother from? HRT : She is from Niigata prefecture. My uncle is from Kagoshima prefecture. ALT : Thank you. HRT : You are welcome.	活動を提示する。	[話すこと] 既習表現を駆使して、音やリズムに注意して英語で聞いたり答えたりしている。 既習表現を駆使して、音やリズムに注意して、進んで活動している。
クラスの「身近な人の出身地調べ」の活動を通して、表現に慣れるとともに友達との交流を楽しむ。	(20)	シールてん付用の地図を黒板に掲示する。 (シールのてん付場所はそれほど場所を取らないので、地方別の地図を準備するなどして集計活動が工夫できるようにすると活動が発展できる。) 活動を興味を高めに行えるように、事前に調べておくよう指示しておくとう良い。 児童の様子を観察し、必要に応じて表現の支援をする。	の表現を用いて、クラスの「身近な人の出身地調べ」をすることを伝える。また ・出身県が分かったら、黒板の該当する県にシールをはる ・一度紹介した人の情報は、次の活動では使用しないことについても、簡単な英語で説明する。 児童からの質問を受け確認が終わったら、調べ活動を行うよう指示する。 児童のシールてん付の活動の様子を観察し、再度、聞き返したりして、表現の機会を作るようにする。	[自国や外国の文化への関心] 英語で友達と楽しく交流することを通して、英語に興味をもって 事前に身近な人の出身県についてたくさん調べ、英語で友達と楽しく交流することに関心をもって取り組んでいる。
Greeting Song	5	児童の感想を笑顔で聞くようにする。 児童の活動のよかった点について、ALT と HRT がそれぞれに賞賛し、次時への活動の意欲を喚起するようにする。		

【 Where are You from ? 】 第 2 時 / 4 週計画

[Aim] 既習学習の知識を利用して外国語指導助手の出すヒントから、国名を当てる活動を通して国名の表現を知り、仲間作りの活動を楽しむことを通して国名や表現に慣れる。

[Preparation] 国名と国旗を表記した絵カード(提示用)、児童活動用の国名カード(表:文字、裏:国旗) 国当てクイズ用の具体物や模型、絵、写真など

主な学習活動	時間	指導上の留意点		評価項目
		HRT	ALT	
Greeting Song	5	笑顔で児童を迎え、一人一人の児童の目を見て既習表現を使ってあいさつを交わし、緊張感を解きほぐすようにする。		
Main Activity 外国語指導助手の自然な英語にヒントを聞き、国当てクイズの活動をする。	35 (15)	クイズ用の具体物を提示したり、写真を提示するなどして、クイズの進行の補助をする。	国当てクイズの進行をする。	[聞くこと] 外国語指導助手の自然な英語を、内容を想像しながら聞いている。 外国語指導助手の自然な英語を内容を想像しながら聞き、提示された具体物や写真などで応じている。 [読むこと・話すこと] 既習の知識や既習表現を駆使したり、カードの国名を読んだりして、簡単な英語で応じている。 既習の知識や既習表現を駆使したり、カードの国名を読んだりして進んで活動している。
活動の実演を見て本時の活動について考え、表現に触れる。	(10)	活動を提示する。	活動を提示する。	
“Where are you from?”の活動を通して表現に慣れるとともに、友達との交流を楽しむ。	(10)	児童活動用国名カードを一枚ずつ配付する。 児童とともに活動することを通して、カタカナ英語との違いに気付かせるようにする。	児童の質問に簡単な英語で答え、活動を促す。	
Greeting Song	5	児童の感想を笑顔で聞くようにする。 児童の活動のよかった点について、ALTとHRTがそれぞれに賞賛し、次時への活動の意欲を喚起するようにする。		

【 Where are You from ? 】 第 3 時 / 4 週計画

[Aim] ある日の各自の食事メニューを用いて、それらの食材の輸入国を調べる活動を通して国々の身近なつながりを実感するとともに、表現に慣れ親しむ。

[Preparation] 献立例 (絵・文字入り) 児童 : ある日の献立の絵 (食材がわかるよう)

主な学習活動	時間	指導上の留意点		評価項目
		HRT	ALT	
Greeting Song	5	笑顔で児童を迎え、一人一人の児童の目を見て既習表現を使ってあいさつを交わし、緊張感を解きほぐすようにする。		
Main Activity 活動の実演を見て本時の活動について考え、表現に触れる。	35 (10)	活動を提示する。	活動を提示する。	<p>[書くこと] メニューを考え、アルファベットに注意して書き、表現に生かしている。</p> <p>アルファベットに注意してていねいに献立や輸入国を視写し、表現に表現に現に生かしている。</p> <p>[自国や外国の文化への関心] 食べ物の輸入国を調べる活動を通して、世界の国々とのつながりに気付いている。</p> <p>食べ物の輸入国を調べる活動をきっかけに、世界の国々とのつながりに関心をもっている。</p>
自分の献立 (単品でも可) に使われた食材の輸入国調べをすることを通して表現に慣れるとともに、友達との交流を楽しむ。	(25)	<p>* ALT、HRT はそれぞれ「ある日の献立」を用意する。 ALT : (自分の献立をみせながら、) This is my breakfast. Bread, a cup of coffee, (献立を指しながら、紹介する) HRT : (ALT の献立を一つ指す) Where is coffee from? ALT : It's from Brazil. (を繰り返し行う。全部終わったら、交替して行う)</p> <p>HRT : (自分の献立をみせながら、) This is my yesterday's lunch. Rice, miso soup, pumpkin, fried shrimp, cabbage and grapefruit. ALT : (HRT の献立を一つ指し) Where is a shrimp from? HRT : It's from China. (を繰り返し行う。)</p> <p>* 活動の提示を見て分かったことを発表するよう促す。 児童の想像力をはたらかせた反応を十分に引き出すようにする。 * 献立のほかに、「野菜サラダ」や「フルーツの盛り合わせ」など多くの食品を使ってあるメニューを用意しておき、児童が表現に触れる機会を作るようにする。</p>	<p>準備した献立の絵に、提示された絵カードの表記を参考にするなどして主な食材を記入するよう促す。</p> <p>の活動の表現を使って、交流するよう促す。 調べて分かった輸入国について、黒板に提示された地図にシールをはるよう指示する。</p>	
Greeting Song	5	児童の感想を笑顔で聞くようにする。 児童の活動のよかった点について、ALT と HRT がそれぞれに賞賛し、次時への活動の意欲を喚起するようにする。		

【 Where are You from ? 】 第 4 時 / 4 週計画

[Aim] 身近な外来語を取り上げ、その言葉を元々使っていた国を調べ合う活動を通して表現に慣れ親しみ、外国との身近なつながりを実感するとともに外国文化への関心をもつ。

[Preparation] 世界地図、外来語カード、国名のカード（提示用） 第 2 時で使用したタイプのもの

主な学習活動	時間	指導上の留意点		評価項目
		HRT	ALT	
Greeting Song	5	笑顔で児童を迎え、一人一人の児童の目を見て既習表現を使ってあいさつを交わし、緊張感を解きほぐすようにする。		
Main Activity 活動の実演を見て本時の活動について考え、表現に触れる。	35 (15)	活動を提示する。	活動を提示する。	[話すこと] 既習の知識や既習表現を駆使して、簡単な英語で応じている。 既習の知識や既習表現を駆使して、進んで、簡単な英語で応じている。 [自国や外国の文化への関心] 外来語を調べる活動を通して、世界の国々とのつながりに気付いたり、外国の言葉への興味をもっている。 外来語を調べる活動を通して、世界の国々とのつながりに気付いたり、外国の言葉や国の交流への興味をもっている。
外来語のわたってきた国を調べることを通して表現に慣れ、友達との交流を楽しむ。	(20)	1グループ4人前後を指示する。 時間に応じて活動を終了し、分からない外来語について質問するように促す。 それぞれの外来語の発祥の地について確認し、世界地図に一つの外来語に対して一つのシールをはる。	各班毎に、の活動を参考に身近な外来語の発祥の国を考えるよう促す。 質問に答えるため、該当する国に関するヒントを簡単な英語で出すようにする。 発祥地の確認の活動や正解の数を確かめる活動を通して、外国とのつながりを実感できるようにする。	
Greeting Song	5	児童の感想を笑顔で聞くようにする。 児童の活動のよかった点について、ALTとHRTがそれぞれに賞賛し、次時への活動の意欲を喚起するようにする。		